

N1

新日本语能力考试

实战模拟问题集

主编 李波



新日本语能力
考试模拟题

编著 孙蕾 李波 李菁菁



W 上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS
www.sflep.com

新日本语能力考试

实战模拟问题集

主编 李波

编著 孙蕾 李波 李菁菁

N1

新日本语能力考试模拟试题

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试 N1 实战模拟问题集/孙蕾,李波,李菁菁编. —上海:上海外语教育出版社,2011

ISBN 978-7-5446-2295-0

I. ①新… II. ①孙…②李…③李… III. ①日语-水平考试-习题集 IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2011) 第 060351 号

出版发行: **上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 王 俊

印 刷: 常熟高专印刷有限公司

开 本: 787×1092 1/16 印张 9.75 字数 225千字

版 次: 2011 年 8 月第 1 版 2011 年 8 月第 1 次印刷

印 数: 3 100 册

书 号: ISBN 978-7-5446-2295-0 / H · 1047

定 价: 22.00 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

前言

日语能力考试(JLPT)自 1984 年第一次在全球范围开展以来,已经实施了近三十年。在这些年里,随着我国改革开放的不断深入以及对外交流的持续扩大,爱好和学习日语的人与日俱增。在这种形势下,日语已经成为了小语种里的大语种,报考日语能力考试的人数年年刷新纪录。日本国际交流基金自 2010 年起对能力考试进行了较大的改革,考试次数由原来的每年一次变为每年 7 月份、12 月份两次,由原来的 1 级、2 级、3 级、4 级四个等级变为 N1、N2、N3、N4、N5 五个等级。其中,N 既是“日本語”的首字母,也代表“New”即新考试、新题型。新的五个等级是在原有的 3 级和 2 级之间新增了 N3 等级。新等级与旧等级之间的对应关系如下:

N1:略高于原有的 1 级水平

N2:与原有的 2 级水平相当

N3:介于原有的 2 级与 3 级水平之间

N4:与原有的 3 级水平相当

N5:与原有的 4 级水平相当

改革后的日语能力考试更加注重实践能力,增加了很多新颖的题型。特别在每一个等级的读解、听解中都新增了相应的实际应用的题目,如对新闻、评论、散文、小说等的内容理解,对不同主张的对比理解,对有用信息的搜索等等。同时,所有等级的听力部分所占比重由原有的四分之一增加到了三分之一。这些都对应试者的实际应用能力提出了更高的要求,需要在掌握原有的单词、语法、阅读的基础上,加强对实际应用型材料的阅读理解和听解能力。并且新的能力考试采用了新的合格评判标准,要求每一单项成绩和总成绩都必须达到合格线,取消了原来的只看总成绩的评判标准。

本次我们推出了全新的、适应新的能力考试的实战模拟训练《新日本语能力考试 N1 实战模拟问题集》、《新日本语能力考试 N2 实战模拟问题集》、《新日本语能力考试 N3 实战模拟

问题集》。本套教材是在充分研究了国际基金交流会、财团法人日本国际教育支援协会《新しい「日本語能力試験」ガイドブック》具体要求的基础上编撰而成的,题型、内容与新的日语能力考试完全匹配。所编写的题目和资料大都来自于当下日本最新鲜的报刊、杂志、网站,涵盖了新要求中所有的报纸评论、新闻记事、产品说明书、天气预报、广告、经济、生活、留学、就业、书信等各种类型。在紧扣新题型要求的同时增加了新鲜度和及时性,使大家能够接触到各种不同题材的知识点。本套教材每一套题目难度适中,不同等级之间难度倾斜适当。

相信通过本套教材的实战训练,大家能够全面了解新能力考的新要求、新难度、新知识点,掌握应试技巧,增强应试信心。有了本套教材,新能力考不再陌生、不再可怕,你也可以从容应对!

2011 年 1 月 25 日

编写者

目次

模擬試験 第一回	29/31	1	11
模擬試験 第二回	24/31	21	20
模擬試験 第三回		41	20
模擬試験 第四回		61	16
模擬試験 第五回		82	14
模擬試験第一回 スクリプト		104	
模擬試験第二回 スクリプト		111	
模擬試験第三回 スクリプト		118	
模擬試験第四回 スクリプト		125	
模擬試験第五回 スクリプト		132	
模擬試験第一回 解答		139	
模擬試験第二回 解答		141	
模擬試験第三回 解答		143	
模擬試験第四回 解答		145	
模擬試験第五回 解答		147	

模擬試験 第一回

言語知識(文字・語彙・文法)・読解

問題1 _____の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1 雨にぬれてはがきの文字が滲む。^{にじ} ^{滲透}

- 1 はさむ 2 にじむ 3 かすむ 4 へこむ

2 自らを省みて恥じるところがない。^{かえり}

- 1 ころみて ^{反省} 2 しょうみて 3 かえりみて 4 はぶみて

3 資金不足のため、プロジェクトの進行が停滞している。

- 1 てったい 2 ていたい 3 てっち 4 ていち

4 あの選手も、新人選手にレギュラーの座が脅かされている。

- 1 おびやか 2 おどか ^{威吓} 3 おびえか 4 きょうか

5 その少年が罪を犯すような兆しは、学校でもまったくなかった。

- 1 ちょうし 2 もよおし ^{先兆} 3 きざし 4 あかし

6 バイオリンの音色にはどこかさびしさがある。

- 1 おんしょく 2 おんね 3 ねしょく 4 ねいろ

問題2 ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

7 社長や部長などといった()だけで人を判断するのはよくない。

- 1 顔つき ^{相貌} 2 身なり ^{穿戴} 3 ^{肩書} ^{肩書き} ^{头衔} 4 外見

^{面部の様子}

8 市場動向を()早く見極めて、対応を決める。
1 速 2 急 3 素 4 即

9 彼は同僚とも、上司とも()よく付き合える将来有望な社員です。
1 要項 2 項目 3 事項 4 要領

10 台風でストップしていた電車が今朝()した。
1 回復 2 復旧 3 復興 4 復活

11 プライベートなことまで()しないでください。
1 交渉 2 干涉 3 会见 4 会谈

12 ()休みの申請をしたほうが周囲に迷惑がかからない。
1 かつて 2 あえて 3 まえもって 4 強いて

13 一週間後に結婚式なのに、まだ準備が()いない。
1 ととのって 2 さだまって 3 かためて 4 そろわって

問題 3 _____ の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

14 プロジェクトの計画変化について、しょうさいに説明した。
1 しぶとく 2 くわしく 3 なにげなく 4 たやすく

15 15 年間も逃げまわっていた殺人犯がついにつかまった。
1 ようやく 2 とにかく 3 とうとう 4 あくまで

16 彼は、きのどくな人生を送っている。
1 大変な 2 立派な 3 貧乏な 4 かわいそうな

17 わからないことは担当のものにお聞きください。
1 窓口 2 係り 3 受付 4 近く

18 約束をすっぱかされたら怒るのがあたりまえだ。
1 当然 2 重要 3 不要 4 無意味

19 先週の試合は、5 対 5だった。

- 1 引き替え 2 引継ぎ 3 取り引き ④ 引き分け

問題 4 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

20 生き生き 活潑、栩栩如生

- ① この町の人々は、みんな生き生きだ。
2 うちのネコはもう年寄りなので、もう生き生きしようとしなない。
3 あいつは退勤時間になると、生き生きしてくる。
4 戦争はまる4年生き生きと続いた。

21 きっかけ

- 1 この仕事が一段落したら、きっかけ旅行に行こう。
~~2~~ 水不足になったきっかけで、このダムがつくられた。
③ 彼女に話しかけたいが、きっかけがなかなかつかめない。
4 写真撮影は、シャッターきっかけが重要だ。

22 割り込む 硬插进去 話に、插嘴

- ① 他人が話しているうちに割り込んでくるのが失礼だ。
2 (駅で)ドアが閉まるときに割り込むのは危ない。
3 窮地に陥ったとき、一人で割り込んで考えないでください。
4 人込に割り込んで買物するのはどうも苦手だ。

23 悪口

- 1 彼女は悪口なので、みんな彼女と話したがない。
2 あの人は先生に私の悪口をしたんです。
3 彼が悪口であるため、周りの人たちに嫌われている。
④ あまり他人の悪口を言わないほうがいいよ。

24 なおさら 更加、越发 受到阻止、反例 越发抑去

- ① 彼女は日に日に、なおさら美しくなっていく。
2 勉強しろと言われると、なおさらやりたくなる。
③ 前回は不評だったので、今度はなおさらいい作品を作るつもりだ。
4 敵の攻撃はなおさら、兵士たちは敵陣に向かって果敢に突撃していった。

25

結構

- 1 A:もう少しいかがですか。 B:はい、結構です。
 2 この学校には、同郷の友達が結構です。
 3 結構なお品をいただきまして、ありがとうございました。
 4 大変ご迷惑をかけてしまって、結構悪かったです。

問題5 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

26

仕事より家族の方が大切だ。家族を犠牲にして()働くつもりはない。

- 1 さえ 2こそ 3まで 4ばかり

27

風があるため、書いた()原稿が飛んでしまった。

- 1 ところで 2しりに 3かたわら 4そばから

28

自分の部屋で勉強している()、近くに住む友達が来て邪魔されてしまった。

- 1 とばかりに 2とはいえ 3ところを 4とおもいきや

29

男性中心の社会では、女性である()不利なこともある。

- 1 うえに 2がゆえに 3にせよ 4かたわら

30

一国の指導者()、自分の利益を優先させているようでは失格だ。

- 1 ものなら 2たるもの 3こととて 4ならでは

31

点差で負けるなんて、くやしい()。

- 1 といったらない 2までもない 3 といったところだ 4 にかたくな

32

記者会見は、質問内容の()30分で打ち切ります。

- 1 せいで 2かわりに 3 次第で 4 いかんによらず

33

人のアイデアを盗むなど、独創性を重んずる芸術家にある()行為だ。

- 1 まじき 2 べき 3 そうな 4 まい

34 来週のパーティーに行ってもいいのよ。もっとも()。

- 1 おもしろそうなパーティーだから
- 2 盛大なパーティーになるでしょう
- 3 着ていく服がなければ行けないけれど
- 4 寒かったらコートを着ていらっしやいよ

35 今回の実験は大成功とは言えないまでも、()。

- 1 あまり成果がなくて残念だった ^{不能説 - 至}
- 2 次回にはきっと成功するだろう
- 3 あきらめないで続けてみよう
- 4 かなりの成果をあげることができた

問題6 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

36 運命を 3 2 4 1 ★ 理解できることだ。

- 1 はじめて
- 2 家族
- 3 とともにした
- 4 ~~にして~~

37 早く教えてくれたらすぐ 1 3 4 2 ★ 言わないとは! ^{ずいぶん}

- 1 何も
- 2 手伝いに
- 3 行ったものを
- 4 みずくさくて ^{本気で 生分的、冷淡的}

38 お世話になった恩師 3 4 2 1 ★ 断るわけにはいかない。

- 1 から
- 2 頼まれた
- 3 に
- 4 には

39 彼ら 4 3 6 1 2 ★ といえども、サークル活動やスポーツ、あるいはさまざまなレジャーで、いずれも学問とは距離をおいたところにある。

- 1 楽しみの ^{余暇}
- 2 対象
- 3 ~~にとって~~
- 4 のほとんど

40 大切な 3 2 1 4 ★ 進めることには反対だ。

- 1 まで
- 2 破壊して
- 3 環境を
- 4 工業開発を

問題7 次の文章を読んで、41から45の中に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

外国で美しい家や家並みに感心したり、感動したことは何度もある。ところが、それらはその土地でのみ美しかったのは 41。日本の昔の、藁葺きや、茅葺きの家を美しいと思

うのは、単にその土地の気候風土に合っているためばかりではない。家という文字が家畜の動物とともに暮らすところなのを表すように、人と動物が藁葺きや、茅葺きの屋根の下にいる気配が 42 のである。生き物のねぐらのおいがそこにはする。それが美しく見える。

43 また、生き物のねぐらでありながら、そこに住む生き物の文化の高さを感じさせる。その高さがないと、茶室の美しさのようなものが出現するはずがない。

44 、私は工場の大量生産によって造られたプレハブ式の既製品住宅に住んでいる。今の時代は、なまじの美学やぜいたくで家を思想の表現とするのは 45 。家もレディー・メードから何かが生まれてくるかもしれないと、勝手に想像している。

- 3 41 1 言うべきだろう ② 言うはずだ
3 言うまでもない 不用説 4 言わないわけにはいかない

- 2 42 1 感じされる 2 感じられる ③ 感じさせられる 4 感じている

- 43 1 そして 2 しかし ③ それから 4 ところで

- 4 44 1 そして ② しかし 3 それから 4 ところで

- 45 ① 難しい 2 易しい 3 有り得ない 4 有り得る

問題 8 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

問題 8(1)

職場というのは、本当に不思議な存在だと思います。家と同じように、「いつてらっしゃい」といって送り出し、「お帰りなさい」といって迎えてくれる職場もあれば、お互いに声をかけることなく、誰がいつ出社したのか、退社したのかさえわからない、そんな職場もあります。

人が集まれば、そこに何らかの感情の交流が起こります。お互いによい感情を伝え合うことができれば、職場が家庭のように自分が帰る場所、自分の居場所になっていくのに、負の感情が連鎖してしまうと、自分を追い詰める場所、関わりたくない場所になってしまう。

(高橋克徳「職場をイキイキさせる方法」による)

- 4 46 筆者のここで最も言いたいことは何か。

- 10 ① すべての職場での人間関係は家族的であるべきだ。
2 ほかの社員の行動を気にしすぎるのはよくないことだ。

3 現在の職場はすべての社員にとって生きづらい場所である。

4 互いの努力によって、職場を居心地のよい場所に変えられる。

問題 8(2)

生物材料の神秘性について、洋服屋さんから面白い話を聞いた。英国の服地は世界一だというのが、その秘密は羊から刈り取った毛を半年余りねかせておくところにあるという。その間に毛は縮んで自然の形になる。それを紡いだ糸で織ると、型崩れのしない布地ができる。布地を織る技術だけでいえば、日本も英国に負けないが、毛をねかせておく期間がとれないために、やはり本場物にはかなわないというのである。

(小原二郎『木の文化をさぐる』による)

47 日本の布地が本場物にはかなわないのはなぜか。

- 1 羊のねる時間が十分とれないから。
- 2 布地を織る技術が低いから。
- 3 羊の毛を十分ねかせていないから。
- 4 日本の羊の毛は縮みにくいから。

問題 8(3)

普通わたしたちは自分のことを「日本人」と規定している。しかし日本人としてのわたしたちとは、具体的にはどういう民族なのだろうか。どこの国にかぎらず、自分たちの民族的性格や特徴は案外知らないものだ。何かを知るということは、その「何か」を「他」から識別し、取り出すことでもある。まず「他」を知らなければ「何か」を識別することはできない。わたしたち自身を知るためには、()。

(本多勝一「民族と文化」による)

48 ()に入る文として、適当なものはどれか。

- ① 他民族を知ることがその第一歩なのだ
- 2 日本民族的特徴や性格を知っておくべきだ
- 3 民族の伝統を重んじなければならない
- 4 他民族からの影響について調べなければならない

問題 8(4)

子供の成長のために、母親の愛はかけがえのないものである。身近に自分を保護してくれるもの(母親)がいるという安心感にささえられていてこそ、子供は、正常な成長をとげることができる。

母親が、何らかの事故でいなくなってしまったサルの場合、子ザルはかなり大きくなって、ほとんど動こうとせず、仲間にもうちとけていくことができない。したがって、母ザルの愛を欠いた子ザルは、群れ(社会)の正常なメンバーとなることは難しい。

(中川志郎『動物子育て物語』による)

49 母ザルの愛を欠いた子ザルは、どうして群れの正常なメンバーになることができないのか。

- 1 成長が遅く、なかなか大きにならないから。
- 2 動きが鈍く、事故にあうことが多いから。
- 3 母親がいないと、群れから追い出されるから。
- ④ 心が不安定で、仲間ができないから。

問題 9 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

問題 9(1)

「①」と自分に^し問うてみたことのない人は、恐らくいないと思われる。そう自分に問うてみて、人々は何か答えが得られたであろうか。何も得られなかったであろう。それはなぜだろうか。理由はかんたんである。自己の人生を終って、ここにいる人はいないからである。誰も人生の「途上」にいるにすぎないのであって、まだ人生を終ってはいないからである。「いま本を書くために机に向っている」とか「入学試験を受けるためにいま英語の勉強をしている」とか言うことはできる。だが、だからと言って「人生は本を書くために在る」とか「人生は英語を勉強するために在る」とか言うわけにはいかない。本を書いたり、英語を勉強したりするのは、人生の「途上」のことであって、人生そのものではないからである。人生の「途上」ではなくて、「すべて」を語ることは今の私にはできない。私はまだ「途上」にいるからである。或いは、他人の人生については語るができるかもしれない。だが、②それはあくまでも他人の人生であって、「私」の人生ではない。私の人生に関する限り、私はいつでも途上にいるのであって、人生の終りに立って過ぎ来し方の「すべて」を語っているのではない。私は私の人生の外に立って、私の人生の全体を語ることはできない。

(樫山欽四郎『哲学概説』による)

50 「①」に入れるのに適切な文を次から選びなさい。

- 1 私は間違っていないだろうか。
- ② 私は何のために生きているのか。
- 3 自分はいったいどんな人間なのだろうか。
- 4 自分はこれからどのくらい生きるのか。

51 ②それが指す内容を選びなさい。

- ①「すべて」を語ること。
②まだ「途上」にいること。
③語ることができない自分の人生。
④語ることができるかもしれない他人の人生。

52 次の文のうち、本文の主旨に合っていると思うものを選びなさい。

- ①自分の人生の目的を自分に問うのはあやまりである。
②人は、しばしば人生そのものでないことにとらわれすぎる。
③自分の人生の「全体」はいつでも今在る自分を超越している。
④他人の人生について語ることは危険である。

問題 9(2)

(次は筆者が、大工であった父について述べた文章の一節である。)

私は直木賞をもらって、新橋の第一ホテルに父を迎えたことがあった。七十四歳の父は、まだ健在で、パーティーの隅にかくれるようにしていたが、豊島区の家へ帰ると、「お前は何を作ったのか」ときいた。小説を書いたのだ、というのと、「そんなことは信じられん、お前の書くようなものが銭になるとは妙な世の中や」と言ったきりである。

そして、私が新築した書斎を丹念にみて廻り、「東京の大工はろくな仕事をせん、廊下の樫ふうの板はあれは偽物や。あんな印刷したような木をはずかしげもなくつかう大工は下の下や」といって、その日のうちに帰っていった。あとにも先にも、父が私の家へ来てくれたのはこの一日で、妻のはなしだと、縄を貸せといっ、屋敷の方位と寸法をはかって、家の図面もチリ紙に書いて持ち帰ったそう。何の目的だったか、わからずじまいに終わったが、晩年は勘当^①したはずの私の消息を気にしていたようである……(以下略)

(水上勉「今生の人々」による)

53 文中に引用された「父」の言葉から、「父」のどんな気質が読み取れるか。

- ① 自分以外を信じない偏屈な気質
② 名人肌の頑固な職人氣質
③ 文学など理解する気のない偏狭な気質

① 勘当：主従・親子・師弟の縁を切って追放すること。

④ 自分の息子を信じていない頑固な親父気質

54 晩年は勘当したはずの私の消息を気にしていたようであるには、「父」に対する筆者のどんな思いがこめられているか。

- 1 父が何を考えたのか不思議だ。
- 2 肉親としての親近感となつかしさ。
- 3 勘当しておいて、何を、今さら…。
- 4 自分と親子の縁を切ったのはやはり父の間違いだ。

55 上の文章の内容と違っているものを選びなさい。

- 1 父は筆者の従事していることについて全然知らなかった。
- 2 大工であった父は新橋に来たのは新橋の建築風格を見たかったから。
- 3 勘当していたのに、父も筆者も相手のことを気にしていた。
- 4 父は息子の作品がお金になるとは信じなかった。

問題 9(3)

ミケランゼロであったか、彫像をほり終えた時、その依頼者が下見にきた。そして少しその像の鼻が高すぎると難をつけた。

ミケランゼロは、一握の大理石の砂をひそかに担って、足場を昇り、あたかも、その鼻をけずるかのようなしぐさで槌を動かして、少しずつ、その大理石の砂を掌からおとしていったのである。

そして、静かに降りて「これでどうでしょう。」といった。依頼者は「ああ、具合よくなった。」といって、得々として帰っていったという。

① 多分さまざまな芸術家につきまとう一つのつくり話であろう。しかし、この話の中には、ある切実なものが含まれている。この像の作者は、この鼻を打ち壊してしまうのも一つの方法であり、また決して、その鼻に手を加えないと言いきることも一つの方法である。しかし、どうして、この大理石の砂をもって足場を、彼が昇っていったのであろうか。単なるへつらいで彼がそわそわしたとも思えない。では、またなぜか。

ここには一つの寂しい認識があるのではあるまいか。すなわち、人類全体が、今、愚劣なのではあるまいかという怖ろしいような認識である。

② 自分をふくめて、人類の愚劣に驚嘆する時、人間は第二の誕生に面したともいえるのではあるまいか。

そして、今、この愚劣なものより、ほかに、人類がなかったとしたならば、私は一握の大理石の砂をもって、足場を昇るより、ほかに道がないではないか。そして、③ その鼻の美しさを守り、人類がその美しい鼻をほんとうに自分のものだと思う日を待たなくてはならないではないか。

(中井正一『一握の大理石の砂』による)

56 ①多分さまざまな芸術家につきまとう一つのつくり話であろうについて、どうしてこのような「つくり話」が「芸術家につきまとう」のか。その理由を選びなさい。

- 1 芸術家はだれでも他人から意見を求める必要があるから。
- 2 依頼者の身勝手な要求に応じないで納得させる必要があるから。
- 3 自分の作品が認められるために他人の要求に応じなければならないから。
- 4 作品を作る時、他人の意見が自分の考えと違うことはきっとあるから。

57 ②自分をふくめて、人類の愚劣に驚嘆する時、人間は第二の誕生に面したともいえるのではあるまいかで、「第二の誕生」という表現を使った理由の説明として、最も適当なものを次の中から選びなさい。

- 1 人類の愚かさを知ることによって、真の生き方ができるようになるから。
- 2 人類の愚かさを知ることによって、芸術家を大切にするようになるから。
- 3 人類の愚かさを知ることによって、同時に人間のすばらしさに気づくから。
- 4 人類の愚かさを知ることによって、自分の偉いところが認められるから。

58 ③その鼻の美しさを守り、人類がその美しい鼻をほんとうに自分のものだと思うは、どういうことをいうか。

- 1 完璧でなくても、自分の作ったものが一番であること。
- 2 他人の意見は別として、自分の芸術を信じていること。
- 3 自然のものより、芸術の作品が人類の思想の現れであること。
- 4 人類が芸術のほんとうの美しさに気づくこと。

問題 10 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

「科学技術の発展」というように、科学と技術とは一体になって使われることが多いが、科学と技術とは少し違いがあるように思われる。そして、日本の科学技術の進歩はすばらしいというような表現に対して、たしかに技術の進歩はすばらしいが、科学の進歩は、かなりの程度ではあっても、技術の進歩のように、世界の超一級とまではいかなないのではないだろうかと感じている。科学と技術とをそれぞれ明確に定義をしないで、こういう比較をするのはあまりよくないかもしれないが、別の表現をすれば、日本の学問は大理論、大発見をあまり生んでいないというような批評は、一般的に認められているものと思う。

日本の学問の歴史が浅いというのは説明にならない。技術も同じ歴史を経過している。大理論、大発見を生まない思想的風土が日本にあるためだと私は考える。①それが森林的思考の世界で、対峙するのが砂漠的思考の世界である。

科学とは、いずれにしても、複雑な現象に関する知識を、人間の論理に従って整頓することであろう。森林の人間の視点は、地上の一点にあった。そういう森林の人間が科学をす